

11 手続きと副プログラム

11-1 手続きと副プログラムの種類

手 続 き procedure	関 数 又は 関数手続き	文関数 組込み関数		内部手続き
		外部関数	基本外部関数 関数副プログラム	外部手続き
	サブルーチン 又は サブルーチン手続き	外部サブルーチン	サブルーチン副プログラム	

副プログラム subprogram	手続き副プログラム	関数副プログラム サブルーチン副プログラム	外部手続きは、手続き副プログラムの形式で定義するか、FORTRAN言語以外の言語で定義する。
	初期値設定副プログラム		

11-2 手続きの定義と引用

手続きをFORTRANプログラム内で引用するときには、あらかじめプログラム内で、手続きを定義する必要があるものと、定義しなくてよいものがある。

- 定義する必要がある手続き：文関数、関数副プログラム、サブルーチン副プログラム
- 定義しなくてよい手続き：組込み関数、基本外部関数

(1) 組込み関数と基本外部関数

組込み関数は、目的プログラムが作られるとき、必要な関数をプログラム内に組込んでしまうのに対し、基本外部関数は、プログラムを実行するとき、必要な関数をその都度呼び出すようにしている。

利用者の立場からすれば、両者を区別して考える必要はなく、全く同じと考えてよい。